

代ゼミの 教員研修

2026
夏期



代々木ゼミナール本部校 代ゼミタワー

対
面

7/25_土

化 公 論

7/26_日

生 地 物

8/1_土

英 数 現 世

8/2_日

英 数 古 日

モバサテ お手元の端末での映像受講

モ
バ
サ
テ

8/10_月 ~ 11/30_月
配信

モバサテ限定講座

数 現

受
講
料

17,000 円 (税込)

代ゼミ講師が「授業法」を解説! 明日からの授業が変わる!

生徒のやる気と能力を引き出す手法をお伝える教員対象の研修プログラムです。
代ゼミ講師の講義を体感できる貴重な機会をご活用ください。
受講スタイルは対面受講orモバサテ受講からお選びいただけます。(数学③、現代文②はモバサテ受講のみ)

実施日・科目

7/25 土
11:00-17:00

化学 公民
小論文

講師&講座内容紹介 P.04

7/26 日
11:00-17:00

生物 地理
物理

講師&講座内容紹介 P.05

8/1 土
11:00-17:00

英文読解 数学①
現代文① 世界史

講師&講座内容紹介 P.06

8/2 日
11:00-17:00

英作文 数学②
古文 日本史

講師&講座内容紹介 P.07

モバサテ限定

数学③ 現代文②

講師&講座内容紹介 P.08

受講料

1講座(90分×3コマ)1名様
17,000円 (税込)

時間割(対面受講)

1限 (11:00-12:30)	モデル授業などによる テーマ別指導法研究① (90分)	モデル授業などによる テーマ別指導法研究①~③ 1つの授業を組み立てる際に、導入からまとめまでのような指導があるのかについて、さまざまな教材を主題に、代ゼミ講師が実際の授業さながらのモデル授業と解説によりお見せします。
昼休憩 (60分)		
2限 (13:30-15:00)	モデル授業などによる テーマ別指導法研究② (90分)	
休憩 (30分)		質疑応答
3限 (15:30-17:00)	モデル授業などによる テーマ別指導法研究③ + 質疑応答 (90分)	受講者の方より事前にお寄せいただいた質問に、代ゼミ講師が可能な限りの知見を動員して回答します。

※ 2026年度より、講師への事前質問はWEBでのみ回答を受け付けいたします。
メールでのお知らせまたは受講セット同封の書類をご覧のうえご回答ください。

受講方法

01・02いずれかをお選びください。

※ 授業内容・教材は、対面受講・モバサテ受講ともに同一です。

お申し込み後の受講方法変更については、代ゼミ教育総研までご連絡ください。

01 対面受講

科目ごとの実施日(P.02参照)に本部校へお越しいただき、ご受講いただきます。代ゼミ講師の授業を対面で受けてみたい方におすすめです。
※ ご参加の方は再受講制度として、同科目を割引価格にてモバサテ受講することができます(詳細・申込方法は実施日当日にご案内いたします)。



対面受講の様子

会場

代々木ゼミナール本部校
代ゼミタワー(東京)

東京都渋谷区代々木2-25-7

※ 詳しいアクセス方法は、受講セット同封の「対面受講のご案内」または右記二次元コードよりご確認ください。

- JR新宿駅 新南改札 徒歩5分
- JR/都営地下鉄大江戸線 代々木駅北口 徒歩5分
- 都営地下鉄/京王新線 新宿駅A1口 徒歩2分
- 小田急線 南新宿駅 徒歩3分 など



対面受講について

申込締切 7月実施講座 **7/24(金) 正午**
8月実施講座 **7/31(金) 正午**

02 モバサテ受講

配信期間:8/10(月)~11/30(月)

インターネットに接続したお手元の端末でご受講いただけます。
対面さながらの臨場感を感じつつ、メモしやすいように動画を一時停止したり、倍速で視聴したりすることが可能です。



モバサテ受講イメージ

配信期間・受講回数に限りがございますので、お申し込みの前にご確認ください。

受講回数:各コマ(回次)、3カウントまで※



映像受講(モバサテ)について

※受講回数のカウント方法 同日内に何度再生しても1カウントとなります。



- 講座をお申し込みいただいたご本人様のみ使用できるログイン情報を、受講セットに同封いたします。
- 録画・撮影は禁止です。動画・教材(テキスト)のダウンロードもできません。
- 1コマ(1回次)ずつご視聴いただけます。受講回数の上限に達した際は受講できません。

申込締切 **9/30(水) 正午**

講師 & 講座紹介

7/25^土

講座コード 7/25対面 A602 モバサテ M602

化学

西村 淳矢 講師
Nishimura Junya

PROFILE
愛媛県出身。代ゼミ講師歴20年以上。サテラインでは「ハイレベル化学」など上位向け講座を主に担当。塾講師や高校の非常勤講師も経験。成績が伸びることを常に意識し、「理論」と「実践」の両面を意識した授業運営を心がけています。

指導時期 初期 基礎養成 実力錬成 受験直前
到達目標 基礎 共テ7割 中堅大学 難関大学

講座コード 7/25対面 A619 モバサテ M619

公民

蔭山 克秀 講師
Kageyama Katsuhide

PROFILE
公民全般(政経・倫理・公共)を担当している蔭山です。新課程移行後の共通テストはまだ2回。教える側の我々もまだまだ手探り状態で、お互い苦労が絶えませんね。でも3回目は、容赦なくやってきます。一緒に対策を考えていきましょう。

指導時期 初期 基礎養成 実力錬成 受験直前
到達目標 基礎 共テ7割 中堅大学 難関大学

講座コード 7/25対面 A620 モバサテ M620

小論文

太田 貴之 講師
Ota Takayuki

PROFILE
1977年生まれ。熊本県出身。東京大学人文社会系研究科基礎文化研究専攻倫理学専門分野博士課程修了。取得学位は博士(文学)。大学で非常勤講師を務める傍ら、2012年度より代々木ゼミナールで受験指導を行う。担当科目は現代文・小論文。

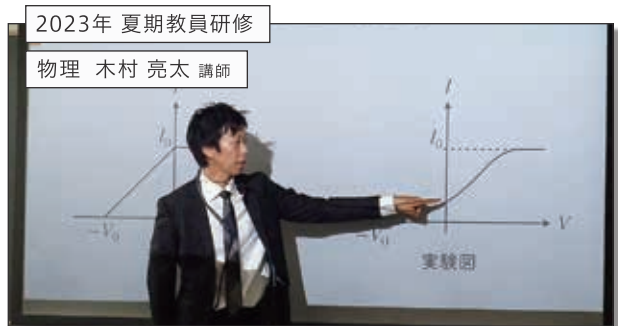
指導時期 初期 基礎養成 実力錬成 受験直前
到達目標 基礎 共テ7割 中堅大学 難関大学

過去の講座の様子



2018年 春期教員研修

小論文 太田 貴之 講師



2023年 夏期教員研修

物理 木村 亮太 講師

指導時期	初期 高校入学直後 目的意識の醸成やモチベーションの向上を課題とする時期に行われるべき指導。	基礎養成 高1~高2 中だるみの時期、何に重点を置き、どのように実践するかをテーマとした指導。	実力錬成 高3前半 高校3年生の前半期を想定した指導。	受験直前 高3後半 高校3年生の後半期を想定した指導。
到達目標	基礎 必須基礎事項の整理から入試頻出問題の対処ができるまでの学力をつけさせる。	共テ7割 基礎学力の定着を確認しつつ、大学入学共通テストでの得点率7割を目標とする。	中堅大学 中堅国公立大(偏差値50以上の大学)に合格する力をつけさせる。	難関大学 難関国公立大(偏差値60以上の大学)に合格する力をつけさせる。記述答案への対応。

高2の「無機」、文系向けの「化学基礎」等の授業運営

講座の主眼
今回は先生方からのアンケートで要望が多かった「無機物質」、「化学基礎」の授業運営について取り上げます。「無機物質」は授業が単調になりがちな「暗記分野」であり、「化学基礎」は高1や文系向けにも授業を行うため授業運営に悩まれている先生方も多いこと存じます。本研修では学校の授業運営を先生方と一緒に考えて参ります。

- 1限 「無機物質」の授業運営について扱います。どう授業をしていけば生徒が「楽しく」「興味をもち」「成績が上がる」授業を行えるのでしょうか。高校や予備校での経験を踏まえてご提案いたします。
- 2限 「化学基礎」の授業運営について“高1・2向け”と“文系の共通テスト対策”の授業運営についてそれぞれ考えます。また、共通テスト化学基礎の傾向・トピックや、問題の取捨選択、どこまで踏み込んで教えるかなども考えて参ります。
- 3限 現行課程から導入された「エンタールピー」について、“入試でどのように出題されたか”とそれを踏まえた学校の授業運営について考えます。また、先生方からいただいた質問にもお答えいたします。

公共政経—「共テ8割確保」の方法を考える

講座の主眼
「去年と今年は解きやすかったが、おとしは最悪だった。来年が怖い」—毎年乱高下する難易度に振り回される共通テスト政治経済で、常に安定的に80点を取るための確実性の高い「勉強方法」や「押さえておくべき単元・ポイント」はないものか? 攻めの姿勢で高得点を狙うのではなく、たまには守備的に考えてみましょう。

- 1限 「公共」で取りこぼさないには? 公共は「たかが25点、されど25点」の、公共政経の鬼門です。ここでの失点を抑えない限り、8割確保は難しいです。出題側も徐々に「出し方」を固めていきたいはずなので、それを予想しつつ、対策を考えましょう。
- 2限 「政経」の得点を安定させるには? 共通テスト政経の難易度は、おそらく今後安定しません。ならば「今年も易しいかも」に期待するより、「どういう範囲を」「どういう勉強方法を」押さえておけば8割確保につながるかを、真剣に考えてみましょう。
- 3限 使用するべき教材と活用方法 準備力をアップさせたいなら、効果的なアイテムは必要です。それが何なのかを考えましょう。ここでは「古いアイテムの見直し」と「新しいアイテムの発見」を軸に、それらの効果的な活用方法を考えていきましょう。

小論文のレベルデザイン~小論文指導の階段を作ろう~

講座の主眼
英語や数学といった教科には単元があり、学習者の学習進度に合わせた指導ができますよね。それと同様に小論文の学習にも単元の概念を取り入れることで、学習者が一歩ずつ階段を登って目標に到達できるようなカリキュラムを作っていきます。対症療法的な添削指導から脱却し、体系立った指導ができるようになることが目的です。

- 1限 第一講「俯瞰と設計」 まずは小論文学習の全体像を俯瞰して現状の問題点を確認した上で、問題を改善した階段状のカリキュラムを組み立てます。次に各単元での到達目標や具体的な指導方法について説明します。
- 2限 第二講「演習と指導」 第一講の内容を元に、演習+解説形式での指導の仕方についてより詳細に説明を加えていきます。生徒の理解度に合わせた解説指導の進め方を、具体的かつ応用可能な形で提示します。
- 3限 第三講「添削と補足」 最後に答案添削形式での指導についてですが、ここでも生徒の学習進度に合わせた添削プランを説明します。また、本講義で触れられなかったタイプの問題についても補足・言及します。

7/26^日

講座コード 7/26対面 A634 モバサテ M634

生物

大堀 求 講師
Ohori Motomu

PROFILE
何かに感動し、それを誰かに話したくなる。そんなことはありませんか? 生物学での感動を生徒たちと共有したい。これが私の講義の根底にある思いです。「楽しく受講していたら、いつの間にか生物が得意になっていた」、そんな講義を目指しています。

指導時期 初期 基礎養成 実力錬成 受験直前
到達目標 基礎 共テ7割 中堅大学 難関大学

講座コード 7/26対面 A655 モバサテ M655

地理

宮路 秀作 講師
Miyaji Shusaku

PROFILE
「地理学の面白さ」「地理教育の重要性」を説くことが、もはや畢生の事業であり娯楽となりつつあります。「教えたいこと」「教えるべきこと」、そして「生徒が教わりたいたいこと」の3つの「交差点」を、未だに探し続けています。

指導時期 初期 基礎養成 実力錬成 受験直前
到達目標 基礎 共テ7割 中堅大学 難関大学

講座コード 7/26対面 A645 モバサテ M645

物理

木村 亮太 講師
Kimura Ryota

PROFILE
日々の授業で基礎からハイレベルな受験指導まで行う傍ら、模試の作問や入試の解答作成も行っています。作問と解答、両方の視点を持つ中で、入試の「出題ミス」は教員でも気づかない物理の本質を浮き彫りにすると思えます。本日はよろしくお祈りします。

指導時期 初期 基礎養成 実力錬成 受験直前
到達目標 基礎 共テ7割 中堅大学 難関大学

新課程入試開始2年、どう変わったか、どう指導するか。

講座の主眼
新課程入試が始まって2年、得点が伸びない原因はやはり「生命現象の正しい理解」「知識を使いこなす力」「思考力」などの欠如です。これらを生徒に身に付けさせるために、どう指導したらよいのでしょうか。今回も、自校に持ち帰ってすぐに使える対処法をふんだんに説明していきます(前回、3年前とは異なる単元を扱います)。

- 1限 ここ数年の共通テスト・主要大学の出題傾向を分析し、生徒がどうして解けないのか、どういう部分でつまづいたかを考えます。そして、どう得点力を上昇させるか、その指導法を2限・3限と合わせて説明していきます。
- 2限 「生命現象の正しい理解」。共通テストを含めて、成績が振るわない生徒はまずこれができていません。こうした力をつけるにはどう指導したらよいでしょう。3限と合わせ、模擬授業を通して説明していきます。
- 3限 「生命現象の正しい理解」は高得点のための突破口ですが、さらに「知識を使いこなす力」「思考力」なども要求されます。それではどのように指導すればよいでしょうか。模擬授業とともに説明していきます。

地理教育の次なる段階へ、今授業でやっておきたいこと

講座の主眼
どんな先生であっても、何でも知っているわけではありません。すると、知識を並べて「それらしい景観」を作る授業になりがちです。生徒が世界を自分の言葉で語れるようになるために、何をどう見れば良いのか。授業に活かせる視点と材料を提示します。

- 1限 自然地理を扱います。地形、気候、災害が一本の線で繋がったとき、生徒の反応が変わります。分野をバラバラに教えるのではなく、景観の見せ方を解説します。自然地理に関しては、「土台」と「更新」が必要ですよ。
- 2限 地誌を扱います。対象は東アジア、旧ソビエト諸国、アフリカです。授業が単なる知識の羅列となりやすい地域ですが、結局は「何を軸として語れば地域像が立ち上がり、生徒の記憶に残るのか?」を整理することが重要です。
- 3限 もはや避けては通れない、地理×AIを扱います! 便利そうだが手を出しにくいままでは、授業は変わりません。授業の質を上げるためにも覚悟を決めてAIと向き合ってみましょう。使い古されたレジュメとオサラバします!

入試問題の「出題ミス」から学ぶ、物理教育の指導のポイントについて考える

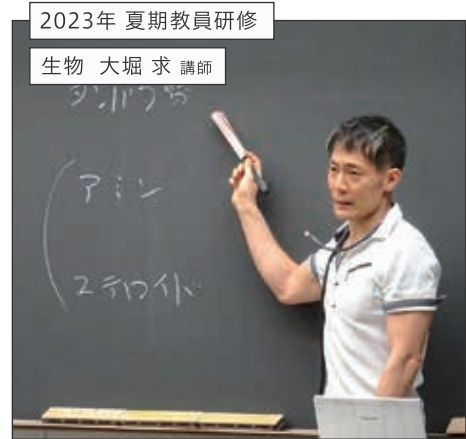
講座の主眼
大学入試問題に見られる出題ミスや、ミスとは言えないまでも注意を要する表現を題材として、物理の問題作成や授業で生じやすい落とし穴を考える。解答を導くだけでなく、条件設定・用語の精度・現象理解の重要性を確認し、より適切な作問と指導に生かす視点を一緒に考えていきましょう。

- 1限 波動分野の問題を通して、音波で出題ミスや誤解が生じやすい理由を考える。圧力と変位、反射、強め合い・弱め合いの条件などの扱いを整理し、波動分野に特有の注意点を確認する。
- 2限 熱力学分野の問題を通して、条件不足や物理的吟味不足がどのような解答の不備につながるかを考える。式の処理だけでなく、熱・仕事・圧力の意味を丁寧に追う重要性を確認する。
- 3限 出題ミスとは言えないが、用語や定義、現象理解の面で注意を要する問題を扱う。表現の揺れや公式処理と現象理解の関係をを通して、授業や審査試験における表現の精度と指導のあり方を見直す。



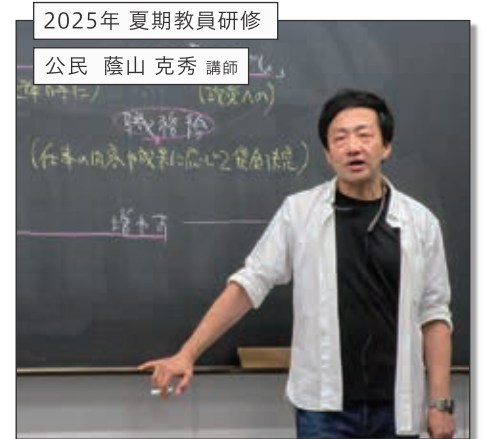
2023年 春期教員研修

化学 西村 淳矢 講師



2023年 夏期教員研修

生物 大堀 求 講師



2025年 夏期教員研修

公民 蔭山 克秀 講師

講座コード 8/1対面 A668 モバサテ M668

英文読解

栗山 健太 講師
Kuriyama Kenta

PROFILE

国際基督教大学教養学部卒。代ゼミ講師歴は本年度で25年。代ゼミと結婚していると仮定すれば結婚式ですが…実はその25年の中で、このセミナーを担当させて頂くのは今回が初めてです。気合が入りまくっています。ぜひ25年の全てをお見せできればと思います。

指導時期 初期 基礎養成 実力錬成 受験直前
到達目標 基礎 共テ7割 中堅大学 難関大学

共通テスト、難関大の読解問題への切り込み方を考える。

講座の主眼 テーマは読解です。単語の暗記、文法の理解、音読…。これら全て正確な読解につながるのですが、実際には全てをこなしても読解に苦手意識がある生徒が減らないのもまた事実です。だからと言って、生徒におもねり、単純化しすぎた方法論に頼ってもいけない。私自身も決して正解を持ってはいないこのテーマを共に考えてみたいと思います。

- 1限 難関大の問題を使って、「何が求められているのか」、「どの点にフォーカスすべきか」を探求していきます。
- 2限 実は易しい(けれど長い)長文問題を扱うことが最も難しいと考えられています。ここでは共通テストの問題を使って指導法を考えてみたいと思います。
- 3限 最後に、「作問」について考えていきます。教える方も、習う方も、どちらにとっても有益で楽しい問題とは何なのでしょう。ケーススタディーをお見せする予定です。

講座コード 8/1対面 A671 モバサテ M671

数学①

小林 清隆 講師
Kobayashi Kiyotaka

PROFILE

代ゼミでは医学部や難関大学向け講座を主に担当しています。また、11年前より運動経験ゼロから筋トレを始め、近年では毎年大会に出場し、昨年度はボディアルのコンテストで優勝することができました。そういった自身の経験も併せて、生徒には目標設定と日々の地道な努力の大切さを説いています。

指導時期 初期 基礎養成 実力錬成 受験直前
到達目標 基礎 共テ7割 中堅大学 難関大学

続・医学部攻略への数学解法研究—年間学習プランの作成—

講座の主眼 実際の医学部入試において、生徒が合格点を取るためには、必要な知識や解法を計画的に習得していくことが重要です。本講座では、それらを1年間で身につけられるよう、扱うべき問題を3つの期間に分けて解説していきます。また、ハイレベルな問題を解くために必要な解法を有した問題の選び方などについても紹介していきます。先生方の問題選びの参考にいただければと思います。2024年度夏期教員研修「医学部攻略への数学解法研究—年間学習プランの作成—」の続編になります。

- 1限 高3一学期(夏期前まで)のうちに学んでおくべきレベルの問題を提示します。夏期や二学期に扱うややレベルの高い問題の伏線を撒いておくことがこの期間のポイントとなります。実際の基本問題を用いて解説をしていきます。
- 2限 夏期や二学期に扱うレベルの問題を提示します。一学期に撒いていた伏線を回収することがこの期間のポイントとなります。実際のハイレベルな入試問題を用いて解説していきます。
- 3限 直前期に扱うレベルの問題を提示します。今まで身につけた知識、思考法をもとに合否を分ける問題にどう取り組むべきかを提示します。また参考書の選択、共通テストの対策などについてもお話をさせていただきます。

講座コード 8/1対面 A687 モバサテ M687

現代文①

湯木 知史 講師
Yuki Tomoshi

PROFILE

代ゼミの教壇に立って31年。難関国公立大学の記述式現代文および小論文の指導に携わってきました。ここでは、様々な文章・設問を通して、学問の基礎となる真の読解力と記述力を培うために必要な経験を生徒が積めるような講義を心がけています。

指導時期 初期 基礎養成 実力錬成 受験直前
到達目標 基礎 共テ7割 中堅大学 難関大学

実効性ある入試現代文(評論・記述式)学習とその指導方法

講座の主眼 実効性のある入試現代文学習とは、具体的問題を通して、入試で求められる読解力と記述力が何かを生徒自身が把握しながら、その力を高めるための経験を積み重ねていくことです。それを踏まえ、本講座では、「与えられた文章を理解すること」、「設問に対する解答を表現すること」を生徒に把握・経験させるための指導方法を考察します。

- 1限 「与えられた文章を理解する」とは、具体的にはどういうことなのか、その能力を大学はどのように測ろうとしているのか、それに対していかなる指導方法があるのか、を国公立大の入試問題を使用して考察します。
- 2限 「設問に対する解答を表現する」とは、具体的にはどういうことなのか、その能力を大学はどのように測ろうとしているのか、それに対していかなる指導方法があるのか、を国公立大の入試問題を使用して考察します。
- 3限 1限・2限を踏まえて、特に学習意欲のある生徒に対して、入試で求められる読解力と記述力が何かを把握させ、さらに読解力・記述力を高めていくための基礎的な学習方法・指導方法を考察します。

講座コード 8/1対面 A731 モバサテ M731

世界史

佐藤 幸夫 講師
Sato Yukio

PROFILE

代ゼミ一筋35年。現在はエジプト・栃木・東京の3拠点で活動。世界102ヶ国を訪れ、世界史をこの目で見続けています。多くの世界史講師を輩出し、高校現場とのつながりを大切にしています。世界各地の友人から最新情報を集め、YouTubeで発信中。

指導時期 初期 基礎養成 実力錬成 受験直前
到達目標 基礎 共テ7割 中堅大学 難関大学

世界史教育の方向性乖離! 克服の鍵はどこに?

講座の主眼 教えていて苦しい? 空しい? 入試を念頭に世界史を教える時の先生方の日々の苦悩ではないでしょうか? 共通テストでは読取・思考が、私大では精密な知識が、さらに論述も要求されるという、「世界史探究」は3方向に引き裂かれました。本講座では、このズレの正体を明らかにし、高校の授業でどう乗り越えるかを具体的に考察していこうと思います。

- 1限 「共通テスト」と「私大入試」と「2次論述」における出題傾向・狙いを比較し、両者の違いとズレの構造を明らかにします。思考型問題・知識型問題・論述型問題は何が異なるのかを整理し、現場で生じている指導上の混乱の原因を共有します。
- 2限 3方向の乖離を前提に、世界史教育としてどのようなカリキュラムと授業設計を行うべきかを考えていきます。年間指導計画、定期試験の在り方、志望別対応の進め方など、現場で実践可能な形で「両立」のための具体策を提示します。
- 3限 「歴史総合」を、世界史受験者・非受験者・進路未確定者の3層に分けて具体的な指導法を考えます。共通テスト対策としての最低限の到達点を押さえつつ、「世界史探究」との接続を意識した学習の進め方を整理し、無理のない実践モデルを示します。

講座コード 8/2対面 A705 モバサテ M705

英作文

大矢 復 講師
Oya Tadashi

PROFILE

30年以上代ゼミで授業をする傍ら、2001年に上梓した「英作文の実況中継」以来、最新刊「ハイパートレーニング自由英作文plus」(2025年)に至るまで、ずっと英作文指導はどうあるべきか世に問うてきました。

指導時期 初期 基礎養成 実力錬成 受験直前
到達目標 基礎 共テ7割 中堅大学 難関大学

英作文指導法 正解がないものを指導する

講座の主眼 この30年の間に、入試も受験生の学力も彼らを取り巻く環境も私の英作文教育への考え方も変化しました。どのような変遷を経て現在の状況があるのかをご紹介します。英作文はどう指導すべきか、和文英訳・自由英作両面についてヒントをご提供できればと思っています。同時に、正解がないものを指導することの楽しさもお伝えできればと思っています。

- 1限 自由英作文の考え方。ただただ100語程度の英文を書くだけなのにparagraph writing的な「型」を重視しすぎることから内容が空虚な形骸化が進んでしまいました。その処方箋を示します。
- 2限 文法・構文と英作文とのリンク。長らく英作文では「簡単な英語で書けば良い」という考えが横行していました。本当にそれで良いのか、むしろ逆ではないかという問題意識をスタートにします。構文力につながる英作文を考えてみます。
- 3限 意識の仕方。ここ20年くらい入試英作の主流は自由英作文ですが、直近の数年、密かに難しい和文英訳が復権してきました。そうした難しい和文英訳には意識が欠かれないのは当然のこと。しかし、「まず和文訳をして」などという雑駁な指導でよいのでしょうか? もう少し具体的な指導を考えます。

講座コード 8/2対面 A715 モバサテ M715

数学②

荻野 暢也 講師
Ogino Nobuya

PROFILE

1963年静岡県生まれ。代々木ゼミナールでの一年間の浪人の末、東京理科大学理学部数学科入学。3年間の私立進学校の教員を経て、平成元年より代ゼミ講師となり今日に至る。何の取り柄もない、垢抜けない、そんな生徒の人生に数学を通して光を灯してあげる事、それが託された使命だと思っている。

指導時期 初期 基礎養成 実力錬成 受験直前
到達目標 基礎 共テ7割 中堅大学 難関大学

天空へのハイレベル理系数学・・・標準からその先へ

講座の主眼 平凡な生徒を一つ上に押し上げる、そんな方法を共に考えて参りたいと思います。一つには彼らが時間を忘れて考えたい問題を提供してあげる。優れたRPGゲームはクリアした後も何度もPLAYしたくなるものです。様々な分野から生徒の興味を引く題材をご紹介します。是非先生方も共に考えただけなら幸いです。

- 1限 今年の東大、京大等の入試問題から話題性、汎用性に富んだ名作問題をご紹介して参ります。また今後、出題されていだろう過去の頻出問題も取り扱って参ります。新課程3年目の入試に向けて先生方の受験指導のお役に立てる内容になれば嬉しく思います。
- 2限 生徒が自主的に考えてくれる良問を題材に、別解を交えながら数学の面白さを共に再確認して参ります。ここでの選問においてはクイズやなぜなの類では生徒の学力向上には繋がらないと思います。あくまでも入試問題の中で探求して参ります。
- 3限 先生方からいただいた議題、ご質問にお答えしつつ私が平日頃考えていること、代ゼミの卒業生達から聞いた現代社会の現状などについてお話し致します。昭和に戻った気持ちで広い御心で楽しんでいただけたら幸いです。

講座コード 8/2対面 A728 モバサテ M728

古文

梅澤 聖京 講師
Umezawa Masataka

PROFILE

東京学芸大学A類国語科卒、大学院は中退です。気づけば代ゼミの講師として21年目、世間ではベテランと言われるのですが、この職場では平均年齢以下です。つまり若手です。ただし写真と本人は違います。

指導時期 初期 基礎養成 実力錬成 受験直前
到達目標 基礎 共テ7割 中堅大学 難関大学

梅澤聖京のここだけの話2026

講座の主眼 今回は特に古文の教材作成に関する「ここだけの話」をこっそりお伝えしたいと思っています。今まで数々のテキスト編集に携わってまいりまして、特に幹幹教材とも言うべき「共通テスト古文」には長年携わっております。テキスト編集の極意を、良問であった今年の共通テストの問題分析も併せて、お伝えできたらと思っています。

- 1限 「共通テスト古文」のテキストから採出したものを事例として、ある程度長い期間を想定した学習効果の高い古文教材の作成法についてお話させていただきます。
- 2限 2026年度共通テストの古文は難易度も時間に対する分量も適切な良問であったと思っています。この良問を扱った予備校における授業の実例をご覧ください。
- 3限 先生方からいただきましたご質問にお答えしながら、1限・2限で言い尽くせなかった古文の学習指導の方法等につきまして、共有・深化させていただけたらと思います。

講座コード 8/2対面 A697 モバサテ M697

日本史

佐京 由悠 講師
Sakyo Yoshiharu

PROFILE

「日本史は考える科目である」との信念を持っています。もちろん「暗記」はゼロにはなりませんが、棒暗記・丸暗記に頼らず、自らのもつ基礎知識を総動員して問題が解ける=自立した受験生を育てることを主眼に、日々講義を行っています。

指導時期 初期 基礎養成 実力錬成 受験直前
到達目標 基礎 共テ7割 中堅大学 難関大学

思考がツナがる日本史授業のツボ

講座の主眼 本講座では「授業の現場」で扱いに悩みやすい3つのテーマ-鎌倉仏教・金解禁・現代史一を取り上げ、実際の授業方法を提示しながら指導の勘所=ツボを考えていきます。当該分野に不安をもつ先生方のみならず、日本史をご担当することになった他科目の先生方のご受講も大歓迎いたします。

- 1限 近年、日本の中世史像は大きく変容してきました。それは仏教史でも同様で、教科書記述も少しずつ変化しています。その変化に真摯に向き合い、鎌倉仏教の授業の一つの「アップデート版」を提示してみたいと思います。
- 2限 近代経済史のなかでも難解とされる金解禁→昭和恐慌→金輸出再禁止の部分を取り上げます。当該分野はただ難解だけではなく、緻密な理解をすれば他にも応用可能な「オアシシ」分野です。その一つの形をお見せします。
- 3限 現代史(「戦後史」)は出来事の羅列になりやすいという声をよくお聞きします。本講座では現代史のいくつかの局面を紹介して、(高校1年生での)歴史総合との接続も意識しながらその勘所を考えてみたいと思います。

モバサテ限定

講座コード モバサテ M691

数学③

野崎 翔太 講師
Nozaki Shota

PROFILE
大学卒業後から代ゼミの教壇に立ち、代ゼミ講師歴14年目になりました。講師歴は決して長い方ではありませんが、「全国入試問題正解」(旺文社)の解答執筆を担当し、共通テストを実際に受験するなど精力的に大学入試の分析を行い指導に役立っています。

指導時期 **初期** 基礎養成 実力錬成 受験直前

到達目標 **基礎** 共テ7割 中堅大学 難関大学

大学入試に対応する統計分野の指導法

「データの分析」と「統計的な推測」

講座の主眼
統計分野は近年の大学入試において重要度が増しており、共通テストでも安定した得点力が求められています。一方で、生徒にとっては抽象的かつつきにくい内容でもあります。本講座では、「データの分析」と「統計的な推測」の分野に関して、基本事項の指導と共通テストに向けた指導を中心に、私が実施している工夫を紹介できればと考えています。

1限
「データの分析」と「統計的な推測」について、私の指導法を紹介します。身近な題材を用いて学習内容をイメージしやすくなる指導の工夫や、特に授業で重点的に扱いたい内容など、生徒の理解を深めるための説明方法を具体的に説明します。

2限
共通テスト数学I「データの分析」について
共通テスト「データの分析」の問題は、基本知識の暗記と計算だけでは高得点を取ることが難しく、その出題に即した対応力が必要となっています。過去問の分析と効果的な演習の方法について解説したいと思います。

3限
共通テスト数学B「統計的な推測」について
統計分野では標準化や仮説検定といった定番の出題内容がありますが、むやみに演習をしても体系化がうまくできません。体系的に知識を整理できるような過去の利用法を紹介したいと思います。

講座コード モバサテ M743

現代文②

酒井 敏行 講師
Sakai Toshiyuki

PROFILE
大学在学中より代ゼミ国語研究室で模試作成と講評、論述指導に携わる。ドキュメンタリー番組の放送作家。監修脚本を担当した美術記録映画部門で文化庁優秀映画に選定される。1982年より代ゼミ講師。その間、フィリピンのネグロス島のNGO活動、自然保護活動、戦没学生調査、研究に従事。

指導時期 **初期** 基礎養成 実力錬成 受験直前

到達目標 **基礎** 共テ7割 中堅大学 難関大学

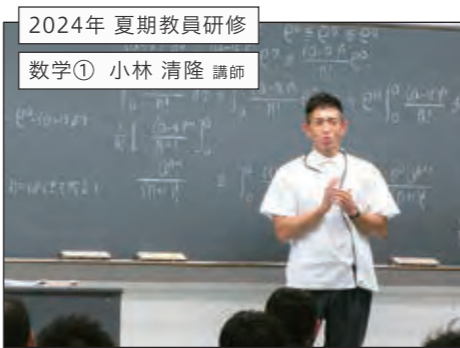
〈解く現代文〉から考え、理解し、表現できる〈楽しむ現代文〉へ

講座の主眼
生成AIを使って簡単に文章の要約ができ、入試問題も合格点が取れてしまう今こそ、日本語の書き言葉をあらためて自分が考える、感じる糧として捉える学習が求められると思います。入試対策につながるだけでなく、正確、客観的に読解して、さらに表現できるようになる授業を展開することを目標にします。随想と小説を教材にします。

1限
記述問題の随想を教材にします。まず評論との相違点と小説との共通点を考えます。経験上、生徒は評論よりも随想と小説に苦手意識を持つことが多いので、これを踏まえて適切な指導のあり方を考えます。

2限
小説を教材にします。生徒は物語に感情移入することが正しい読み方だと思いついていたり、また無意識裡に主観的に読んでしまったりすることが多いので、心理表現や伏線などの小説の表現技法を理解して学べる指導法を考えます。

3限
記述問題の随想を教材にします。高校一年生から三年生まで全学年に対応できるようにするため、基本に立ち返って読解することの大切さを問題演習を通して指導する方法を考えます。書くことが現代文学習には最善で不可欠であることを確認します。



受講者の声

過去の研修終了後アンケートでは、以下のようなご意見・ご感想をいただくことができました。

数学

2024夏期 数学① 小林清隆 講師
医学部攻陥への数学解法研究
一年間学習プランの作成

筋トレの話から高3向けの時間の使い方の話へのつなげ方は本当に素敵で、教科だけでなく、人として魅力的な方だなと思いました。Sectionごとに、年間の指導内容の変化を感じられました。特にベクトルの汎用性の高さ、確率漸化式での式設定の原則など、とても勉強になりました。

数学

2025夏期数学② 野野暢也 講師
天空へのハイレベル理系数学
...新課程入試の現状と未来

実践的な解法と、指導するうえでのポイントを明示して下さり、参考となる点が多くありました。東大入試も扱いつつ、入試傾向予想も交えた重要例題の解説が聞けて、大満足です。授業の途中で、受講者の集中力を保つためのテクニックも垣間見られ、非常に参考になりました。

小論文

2018春期小論文 太田貴之 講師
受験小論文の指導法とカリキュラム構築について

美しい板書でとても見やすく、非常に分かりやすかったです。小論文を書くうえで、生徒にどのようなステップを踏ませていくか、参考になりました。添削をする際、生徒の文章を否定することなく、慎重に丁寧に見ていくことを心がけたいと思います。

現代文

2018夏期現代文 湯木知史 講師
記述式現代文学習の本質とその指導方法の考察

文章読解の観点や設問のパターンごとの記述の方法など、分かりやすく講義していただき大変勉強になりました。特に、意味内容説明と理由説明の設問の関連性については初めて聞く話でしたので、今後の参考になりました。

現代文

2018春期現代文 酒井敏行 講師
「精読」と「速読」を調和させる現代文の読解法と指導法

研修を受講し、特に授業方法について学ぶことが多かったです。分かりやすく伝えるため、どのように言いかえるか、どのような言葉を繰り返し言うべきかなど、大変勉強になりました。自分の中で定着させるため、何度も復習し自身の授業に生かしていきます。

古文

2023夏期古文 梅澤聖京 講師
予備校講師徒然談義
一生きる「かたち」を学ぶ古文

梅澤先生の授業は初めて受けましたが、学びが非常に多くありました。先生のキャラクターもさることながら、ただ楽しく、陽気にしているのではなく、選び抜かれた言葉で説明してくれているのでスッと理解できるのだと感じました。またぜひ受けたいと思います。

化学

2023春期化学 西村淳夫 講師
激変する熱化学
「エンタルピー」の授業運営

ちょうど指導に困っていたエンタルピーについてお話が聞けたこと、とても嬉しく思います。それによる指導上の留意点など、受験を専門としている講師の先生ならではの視点を知れたこともよかったです。今後の指導の仕方が具体的にイメージできました。

生物

2023夏期生物 大堀求 講師
新課程入試開始直前、
生物をどう教えるかを考える。

入試問題からどこまで教える必要があるのか傾向がわかり、ためになりました。また、「マクロな視点からミクロな視点で教える」ということは、今後どの分野でも大切だと感じました。わかりやすく、他の授業も聞いてみたくなる講座でした。

物理

2023夏期物理 木村亮太 講師
教壇でそのまま使える
原子分野の授業の進め方

他の方の原子分野の授業を受けたことがなかったため、木村先生の授業はとても新鮮であり、その上手さに感動しました。原子分野はどこまで深くやれば良いのかわからなかったため、自分の中に基準がつくれたのは非常に良かったです。

公民

2025夏期公民 薩山克秀 講師
つい始めた新課程共通テスト
公共政経と公共倫理

昨年度から始まった「公共+政治経済(or倫理)」に対する薩山先生なりの分析が大変参考になりました。今年度で3度目の参加となりますが、実際に当科目の共テ実施以前から内容がより洗練されており、先生の血と汗と涙が感じられる内容でした。

地理

2025夏期地理 宮路秀作 講師
「先生」がついていってしまいがちな
指導法を点検!

「教科書で教える」べきだと考えてはいましたが、教職年数を経る中で、気づけば枝葉ばかり増えていたように思いました。また、教科書で教えるためにはどのような方法、(情報収集など)があるのか、非常に参考になりました。

世界史

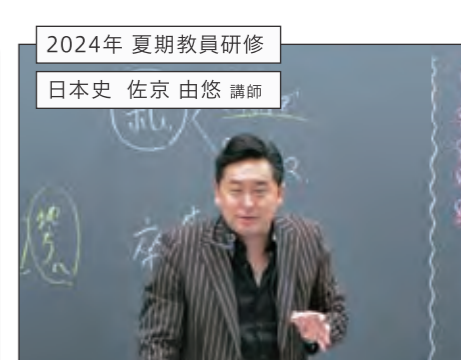
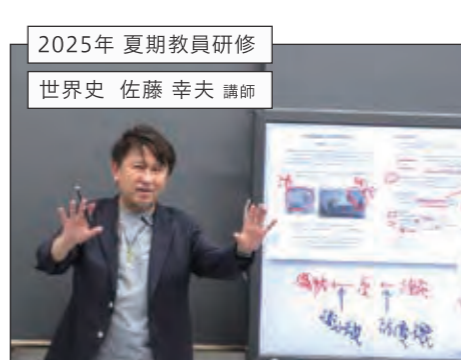
2025夏期世界史 佐藤幸夫 講師
安堵と困惑の2025年入試から
受験世界史を再考!

日頃のモヤモヤを振り払って下さるような研修内容でした。学校現場の状況に落とし込みながら、すぐに実践できる内容を教えて下さって、明日から自分なりに歴史総合と世界史探究について考えることができる内容に勇気をもらいました。

日本史

2024夏期日本史 佐京由悠 講師
思考する、ツナガる文化史の指導法
—実際の授業を通して—

研修の中で「印象に残る内容に触れ、知識と知識を接着してあげる」という言葉が、とても印象的でした。細かいネタ、社会的背景、そして構造。バラバラだった知識が有機的につながる瞬間が多くあり、その度にワクワク感がとまりませんでした。今後の授業に取り入れたいと思います。



最新情報はSNSで発信中!

X Instagram

note

イベントのお知らせや教育コラム、入試情報など内容盛り沢山!最新の情報をお届けします。

教育テーマ記事、更新中!

教育をテーマに様々な記事を更新中です。読み物としてはもちろん、教育情報や入試情報の収集にお役立てください。

過去の教員研修の一部を動画で体験!

YouTubeでサンプル動画を公開中!

代ゼミ教育総研チャンネル

お申し込みからご受講まで

代ゼミの教員研修 2026夏期



https://www.yozemi-eri.com/seminar/2026summer.php

受付開始 2026/5/8(金)～

01 お申し込み

下記の①・②いずれかの方法でお申し込みください。

① 申込フォームからの申し込み

専用申込フォームに必要事項を入力、送信してください。送信完了後、申込代表者様のメールアドレスへ受付完了メール(自動返信)が届きます。

①で申し込む

- ※「@yozemi-eri.com」「@yozemi.ac.jp」からのメールを受信できるよう、受信許可設定をお願いします。
- ※送信後、1時間経っても自動返信メールが届かない場合はご連絡ください。



- お電話でのお申し込みは受け付けておりません。
- 申込内容に関して不明点がある場合、ご確認のお電話やメールを差し上げる場合がございます。
- 「代ゼミの教員研修アーカイブス」は申込フォーム・用紙が異なります。別途、お申し込みをお願いいたします。

② 申込書(FAX・mail)での申し込み

専用申込用紙ダウンロード後、必要事項をご記入(入力)の上、代ゼミ教育総研研に送信してください。3営業日以内に、申込代表者様のメールアドレスへ受付完了メールをお送りいたします。

②で申し込む

- ※「@yozemi.ac.jp」からのメールを受信できるよう、受信許可設定をお願いします。
- ※3営業日を過ぎても受付完了メールが届かない場合はご連絡ください。



FAX ☎ 03-3370-7440

mail ✉ soken_info@yozemi.ac.jp

申込期限

対面受講: 7月実施講座 7/24(金)正午まで
8月実施講座 7/31(金)正午まで

モバサテ受講: 9/30(水)正午まで

Q. 請求書はいつ届きますか?

ご希望された方には、3営業日以内に請求書(PDF)を申込代表者様のメールアドレスにお送りいたします。
※ダウンロード期限がございますので、ご注意ください。
※請求書の個人名のみでの発行は承っておりません。

02 お支払い

受付完了メール(または請求書)の「お支払情報」部分をご確認のうえ、指定口座へ受講料をお振り込みください。

お支払方法は銀行振込(三井住友銀行)のみです。※振込手数料はお客様のご負担となります。

振込金額や振込名義が申込情報と異なる場合、同一の学校(法人)より複数人分お振り込みされる場合は、事前にご連絡をお願いいたします。

- 支払完了メールの送信はございません。ご利用明細書等、お振り込みの控は受講セットの受け取りまで大切に保管してください。
- お申し込み完了後に請求書または領収書をご希望の際は、代ゼミ教育総研までご連絡ください。
- 事務手続き上、やむを得ず実施日近・お支払期限後の入金となる場合や、「代ゼミの教員研修アーカイブス」等との同時入金となる場合は予めご相談ください。
- 支払期限までにご入金がない場合は、自動的にキャンセルとなります。

支払期限

対面受講: 実施日 まで

モバサテ受講: 10/30(金)まで

03 受講セットお届け (発送開始7/10(金)～)

入金確認が取れましたら、郵送または佐川急便にて発送いたします。

到着日はお届けの地域の配送状況により前後することがございます。

- 振込金額や振込名義が申込情報と異なる場合には、確認・発送にお時間をいただく場合がございます。事前にご連絡ください。
- 複数名でお申し込みの場合、申込代表者様宛に一括送付となります。各受講者様宛の個別発送は致しかねます。
- 対面受講の方で入金の実施日1週間前を過ぎた場合や、受講セットを事前にお受け取りにできない場合は、当日、受付にて手渡しとさせていただきます。
- モバサテ受講の方で入金支払期限間近の場合でも、配信期間の延長はいたしません。お早目のご入金をお願いいたします。
- 対面受講とモバサテ受講では受講セットの同封物が異なります。それぞれ専用のセットをお送りします(教材は同一です)。

Q. 受講セットがなかなか届きません。

ご入金のお日にちをご確認のうえ、代ゼミ教育総研までご連絡ください。なお、複数名でお申し込みいただいている場合、申込代表者様が保管をされているケースや、振込手続きがお済みでないケース等がございます。再度ご確認をお願いいたします。

04 ご受講

対面受講 実施日当日、会場(本母校 代ゼミタワー)へお越しください。

当日の流れ

10:00 受付開始(～10:55まで)

- 受講セット同封の『出席票』をご記入のうえ、ご持参ください。当日、受付にて回収し、引き換えで受講者証を交付いたします。
 - 受付開始前にお越しの方の待機場所をご用意しておりません。ご了承ください。
- 受付完了後、受講科目の教室へご移動ください。

11:00 講座開始(時間割はP.02参照)

17:00 終了

対面受講を欠席される方で、モバサテ受講への変更を希望される場合は事前にご連絡ください。



対面受講について

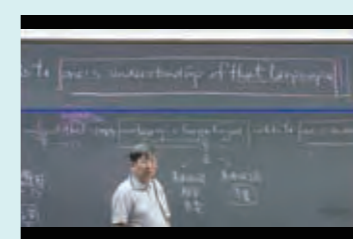
実施日 7/25(土)、26(日)、8/1(土)、2(日)

モバサテ受講 配信開始後、受講ガイドのログイン情報に沿って専用ページよりご受講ください。

受講イメージ



1コマずつ分かれているので、ご都合に合わせて受講できます。



板書が分かれる際は2画面に分割し、全体を撮影しています。

1コマ90分を1.5倍速受講すると——

通常 受講90分

1.5倍速 受講60分 30分短縮!

変更できる再生速度
×0.75/×0.9/×1.1/×1.2/×1.3/×1.4/×1.5/×1.6/×2.0

音飛びせずに最速2.0倍までのスピードで視聴できます。

受講回数に限りがございますので、ご注意ください。
(各回次、3カウントまで ※カウント方法はP.03参照)

配信期間 8/10(月)～11/30(月)



映像受講(モバサテ)について

各種メールや受講セットが届かない場合や、お申し込み内容の変更・修正がございましたら、ご連絡ください。

✉ soken_info@yozemi.ac.jp

代ゼミ教育総研 ☎ 0120-010-423
(平日 9:00-17:00)

お申し込みから受講までの流れ



個人情報の取り扱いについて

お申し込みの際にご記入・ご登録いただきました氏名、住所等の個人情報は、厳重に取り扱い、以下に提示する利用目的にて使用させていただきます。

1. 利用目的

- ①緊急連絡等の名簿作成のため
- ②当学園グループまたは当学園グループが委託した第三者が企画・主催する各種行事その他のご案内のため、もしくは各種調査等のご依頼のため
- ③個人を特定できない方法・表記を用いた情報資料作成のため

2. 当学園が取り扱う皆様の個人情報に関するお問い合わせ先
当学園本部長個人情報取扱管理責任者(法務部本部長)
電話 03-3379-5221(代表)

講座一覧

実施日	科目	担当講師	講座コード	
			対面受講	モバサテ受講
7/25 (土)	化学	西村 淳矢 講師	A602	M602
	公民	蔭山 克秀 講師	A619	M619
	小論文	太田 貴之 講師	A620	M620
7/26 (日)	生物	大堀 求 講師	A634	M634
	地理	宮路 秀作 講師	A655	M655
	物理	木村 亮太 講師	A645	M645
モバサテ 限定	数学③	野崎 翔太 講師		M691
	現代文②	酒井 敏行 講師		M743

実施日	科目	担当講師	講座コード	
			対面受講	モバサテ受講
8/1 (土)	英文読解	栗山 健太 講師	A668	M668
	数学①	小林 清隆 講師	A671	M671
	現代文①	湯木 知史 講師	A687	M687
8/2 (日)	世界史	佐藤 幸夫 講師	A731	M731
	英作文	大矢 復 講師	A705	M705
	数学②	荻野 暢也 講師	A715	M715
	古文	梅澤 聖京 講師	A728	M728
	日本史	佐京 由悠 講師	A697	M697

2026年度

代ゼミの教員研修 アーカイブス

代ゼミ教員研修の人気講座がオンライン研修で復活!
2026年度は全56講座を配信!!

90分×3コマ 19,000円 (税込)

90分×2コマ 13,000円 (税込)

配信期間

2026/04/01 Wed. ~ 2027/03/31 Wed.

受講方法

モバサテ 受講

お手元の端末での映像受講

※こちらは PC・タブレット等での映像受講です。

NEW

2025
英語

佐々木 和彦 講師

情報の流れを意識した英文読解と解答のための指導法

NEW

2025
数学

湯浅 弘一 講師

高2から高3への橋渡し(教科書学習から受験数学へ)

NEW

2025
現代文

笹井 厚志 講師

大学が求める読解力とは。

NEW

2025
物理

漆原 晃 講師

物理の成績向上の「きっかけ」をつかませる指導法の研究

NEW

2025
世界史

佐藤 幸夫 講師

安増と困惑の2025年入試から受験世界史を再考!

メールマガジン配信中

代ゼミ教育総研から、教員向け研修のご案内などの情報をお届けします。

ご登録はコチラ▼

https://www.yozemi-eri.com/member/mail_registration.html

代ゼミ教育総研

<https://www.yozemi-eri.com>

代々木ゼミナール本部校 代ゼミタワー

〒151-8559 東京都渋谷区代々木2-25-7

☎ 03-3379-5221 (代表) ☎ 03-0120-010-423

✉ socket_info@yozemi.ac.jp